

平成28年度 農薬登録における作物グループ化検討試験明細書

(試験期間 28年7月 ～ 28年8月)

1. 被験物質

(1) 一般名・剤型

- ①トリフルミゾール(トリフミン)水和剤
②ノニルフェノールスルホン酸銅(ヨネポン)水和剤
③ベノミル(ベンレート)水和剤
④DBEDC(サンヨール)
⑤ホセチル(アリエッティ)水和剤
⑥マラソン(マラソン)乳剤
⑦ミルベメクチン(コロマイト)乳剤
⑧ポリオキシン複合体(ポリオキシンAL)水溶液
⑨シフルフェナミド(バンチョTF)顆粒水和剤
⑩アバメクチン(アグリメック)
⑪カスガマイシン(カスミンボルドー)
⑫イミダクロプリド(アドマイヤー)フロアブル
⑬有機銅(ドキリン)フロアブル

(2) 有効成分名及び成分含有率

- | | |
|-----------------|-------|
| ①トリフルミゾール | 30.0% |
| ②ノニルフェノールスルホン酸銅 | 40.0% |
| ③ベノミル | 50.0% |
| ④DBEDC | 20.0% |
| ⑤ホセチル | 80.0% |
| ⑥マラソン | 50.0% |
| ⑦ミルベメクチン | 1.0% |
| ⑧ポリオキシン複合体 | 50.0% |
| ⑨シフルフェナミド | 3.40% |
| ⑩アバメクチン | 1.80% |
| ⑪カスガマイシン | 5.7% |
| ⑫イミダクロプリド | 20.0% |
| ⑬有機銅 | 35.0% |

(3) 被験物質のLot No.

- | | | |
|-----------------|-------------------|----------------|
| ①18.10 4Z24S | ②17.10 452 | ③19.10 GAA275 |
| ④20.10 11333 | ⑤18.10 PD16B00002 | ⑥18.10-NG501Z |
| ⑦18.10 48U80023 | ⑧19.10 No.421 | ⑨18.10 SEK-03T |
| ⑩17.10 14Y13 | ⑪18.10-HI401Y | ⑫19.10 T6C01 |
| ⑬17.10 A5D10 | | |

2. 農作物名

メロン

品種名

ソナタ夏系2号

3. 試験実施機関名

一般社団法人 日本植物防疫協会 茨城研究所

試験圃場所在地

茨城県牛久市結束町535番地

4. 試験責任者氏名

長岡広行、鈴木由子、川北彦彦、櫻井昭寿、八丁昭龍

5. 土性

砂土・砂壤土・壤土・埴壤土・埴土 (○を付す)

減水深

— cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙1に記載

7. 栽培概要

播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(/10a)、水管理等

被覆資材(茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・11月栽培の被覆時期を記載す

露地・施設の別

施設

有袋・無袋の別: 有袋

播種: 平成28年5月16日, 定植: 6月15日, 立体栽培(心止め) 人工交配: 7月8日~12日

栽植密度: 畝間180cm, 株間50cm, 条間50cm, 2条植え (マルチ被覆), 約2222株/10a

施肥(10a当たり):

平成28年5月30日 キヨミ有機(堆肥)2000kg/10a

7月16日 くみあい尿素複合液肥1号(12-5-7)200倍

その他の管理は、慣行に従った。

収穫期間(適期): 8月下旬~

8. 生育ステージ

—

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません): 処理区および無処理区設置施設

7月19日 カッテン乳剤 5000倍・スターマイトフロアブル 2000倍・スタークル顆粒水溶剤 2000倍

7月21日 イオワフロアブル 500倍

10. 試験区

(1) 試験区の面積および(株)数

処理区A: 32.4㎡(1.8m×9.0m×2畝) 72株, 処理区B: 32.4㎡(1.8m×9.0m×2畝) 72株

処理区C: 32.4㎡(1.8m×9.0m×2畝) 72株, 処理区D: 32.4㎡(1.8m×9.0m×2畝) 72株

無処理区E: 36.0㎡(1.8m×20.0m×1畝) 80株

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ

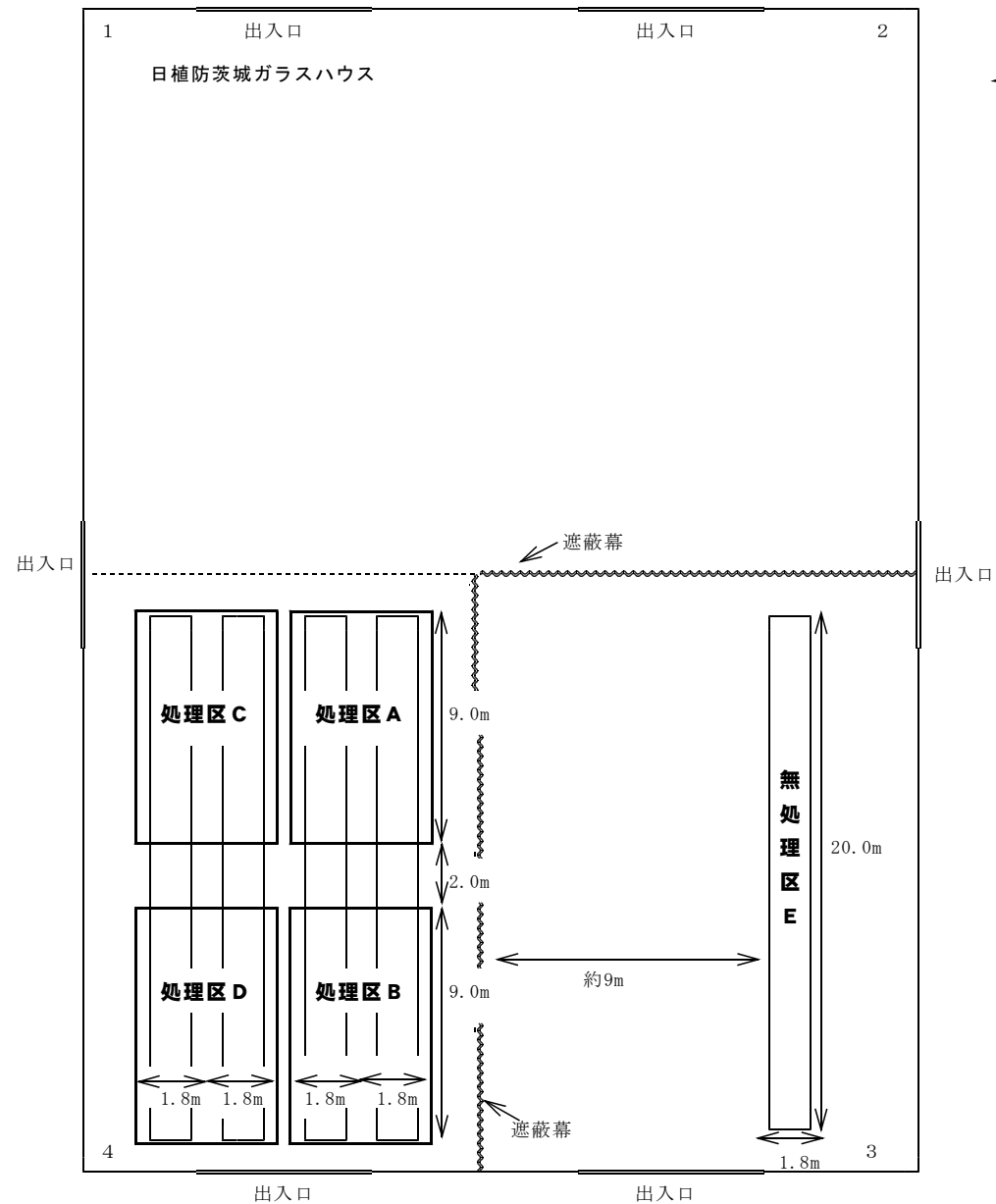
処理区A~Dおよび無処理区E 面積: 874㎡, 容積: 2840.5㎡, 高さ: 4.5m

(H28グループ化:メロン)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としてもかまいません)

- ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。
- イ) 試験区間および試験区と無処理区間の距離を記入して下さい。
- ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
							10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した農薬量/薬液量		
平成28年7月25日	トリフミン				無処理	3000倍	281L	3.03g/9.1L/32.4㎡	4.00g/12.0L	果実肥大期 (草丈約1.7m)	茎葉散布
8月 1日	トリフミン					3000倍	281L	3.03g/9.1L/32.4㎡	4.00g/12.0L	果実肥大期 ネット形成期 (草丈約1.7m)	茎葉散布（混用）
	ヨネボン					500倍		18.20g/9.1L/32.4㎡	24.00g/12.0L		
	サンヨール					500倍		18.2ml/9.1L/32.4㎡	24.0ml/12.0L		
8月8日	トリフミン					3000倍	281L	3.03g /9.1L/32.4㎡	4.00g/12.0L	成熟期 (草丈約1.7m)	茎葉散布（混用）
	ヨネボン					500倍		18.20g/9.1L/32.4㎡	24.00g/12.0L		
	ベンレート					2000倍		4.55g/9.1L/32.4㎡	6.00g/12.0L		
	サンヨール					500倍		18.2ml/9.1L/32.4㎡	24.0ml/12.0L		
	アリエッティ					800倍		11.38g/9.1L/32.4㎡	15.00g/12.0L		
8月15日	トリフミン					3000倍	281L	3.03g /9.1L/32.4㎡	4.00g/12.0L	成熟期 (草丈約1.7m)	茎葉散布（混用）
	ヨネボン					500倍		18.20g/9.1L/32.4㎡	24.00g/12.0L		
	ベンレート					2000倍		4.55/9.1L/32.4㎡	6.00g/12.0L		
	サンヨール					500倍		18.2ml/9.1L/32.4㎡	24.0ml/12.0L		
	アリエッティ					800倍		11.38g/9.1L/32.4㎡	15.00g/12.0L		
8月22日	トリフミン					3000倍	278L	3.00g /9.0L/32.4㎡	4.00g/12.0L	慣行収穫期 (草丈約1.7m)	茎葉散布（混用）
	ヨネボン					500倍		18.00g/9.0L/32.4㎡	24.00g/12.0L		
	ベンレート					2000倍		4.50g/9.0L/32.4㎡	6.00g/12.0L		
	サンヨール					500倍		18.0ml/9.0L/32.4㎡	24.0ml/12.0L		
	アリエッティ					800倍		11.25g/9.0L/32.4㎡	15.00g/12.0L		

区 分 処理月日	処理方法の詳細， 処理時の環境条件等	処理時刻，処理時の天候を含む処理日の天気概況	
		特に降雨の有無と降雨時間，処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H28年7月25日	散布機器：背負式バッテリー（丸山 MSB1500Li） ノズル：狭角コーンノズル（丸山） 散布方法：1株毎に，一定の時間で全体へ均一に散布した。	時刻 16：13 ～ 16：23	天候：晴れ（日中晴れ），風の影響なし。
8月1日		時刻 16：20 ～ 16：30	天候：晴れ（日中晴れ），風の影響なし。
8月8日		時刻 16：40 ～ 16：50	天候：晴れ（日中晴れ），風の影響なし。
8月15日		時刻 16：30 ～ 16：40	天候：晴れ（日中晴れ），風の影響なし。
8月22日		時刻 12：00 ～ 12：10	天候：雨（日中雨），風の影響なし。

- (1) 展着剤

使用せず

使用した区番号

展着剤名

濃度または量
- (2) 備考

各回，薬液を多めに作製して散布した。なお，8月1日は3剤，8月8日，15日，22日はそれぞれ5剤を混用して薬液を作製した。

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
							10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した農薬量/薬液量		
H28年7月25日		ポリオキシシンAL			無処理	1000倍	278L	9.00g /9.0L/32.4㎡	11.00g/11.0L	果実肥大期 (草丈約1.7m)	茎葉散布
8月1日		ポリオキシシンAL				1000倍	278L	9.00g /9.0L/32.4㎡	11.00g/11.0L	果実肥大期 ネット形成期 (草丈約1.7m)	
8月8日		マラソン				1000倍	278L	9.0ml/9.0L/32.4㎡	11.0ml/11.0L	成熟期 (草丈約1.7m)	茎葉散布（混用）
		ポリオキシシンAL				1000倍		9.00g /9.0L/32.4㎡	11.00g/11.0L		
		アグリメック				500倍		18.0ml /9.0L/32.4㎡	22.0ml/11.0L		
8月15日		マラソン				1000倍	278L	9.0ml/9.0L/32.4㎡	17.0ml/17.0L	成熟期 (草丈約1.7m)	茎葉散布（混用）
		コロマイト				1000倍		9.0ml/9.0L/32.4㎡	17.0ml/17.0L		
		ポリオキシシンAL				1000倍		9.00g /9.0L/32.4㎡	17.00g/17.0L		
		パンチョTF				1360倍		6.62g /9.0L/32.4㎡	12.50g/17.0L		
		アグリメック				500倍		18.0ml/9.0L/32.4㎡	34.0ml/17.0L		
8月22日		マラソン				1000倍	281L	9.1ml/9.1L/32.4㎡	17.0ml/17.0L	慣行収穫期 (草丈約1.7m)	茎葉散布（混用）
		コロマイト				1000倍		9.1ml/9.1L/32.4㎡	17.0ml/17.0L		
		ポリオキシシンAL				1000倍		9.10g/9.1L/32.4㎡	17.00g/17.0L		
		パンチョTF				1360倍		6.69g/9.1L/32.4㎡	12.50g/17.0L		
		アグリメック				500倍		18.2ml/9.1L/32.4㎡	34.0ml/17.0L		

区 分 処理月日	処理方法の詳細， 処理時の環境条件等	処理時の使用器具（機械），樹幹塗布，湛水散布時の水管理， 土壌混和時の深度・土壌水分，種子消毒時の水温・液比等	処理時刻，処理時の天候を含む処理日の天気概況	
			特に降雨の有無と降雨時間，処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H28年7月25日	散布機器：背負式バッテリー（丸山 MSB1500Li） ノズル：狭角コーンノズル（丸山） 散布方法：1株毎に，一定の時間で全体へ均一に散布した。		時刻 16：13 ～ 16：23	天候：晴れ（日中晴れ），風の影響なし。
8月1日			時刻 16：17 ～ 16：27	天候：晴れ（日中晴れのち曇り），風の影響なし。
8月8日			時刻 16：40 ～ 16：50	天候：晴れ（日中晴れ），風の影響なし。
8月15日			時刻 16：27 ～ 16：37	天候：晴れ（日中晴れ），風の影響なし。
8月22日			時刻 12：00 ～ 12：10	天候：雨（日中雨），風の影響なし。

(1) 展着剤 使用せず 使用した区番号 展着剤名 濃度または量

(2) 備考 各回，薬液を多めに作製して散布した。なお，8月8日は3剤，8月15日、22日は5剤を混用して薬液を作製した。

(H28グループ化:メロン)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
							10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した農薬量/薬液量		
H28年 7月18日			カスミンボルドー		無処理	1000倍	250L	8.10g /8.1L/32.4㎡	10.00g/10.0L	果実肥大期 (草丈約1.7m)	茎 葉 散 布
7月25日			カスミンボルドー			1000倍	278L	9.00g /9.0L/32.4㎡	11.00g/11.0L	果実肥大期 (草丈約1.7m)	茎 葉 散 布
8月 1日			カスミンボルドー			1000倍	278L	9.00g /9.0L/32.4㎡	12.00g/12.0L	果実肥大期 ネット形成期 (草丈約1.7m)	茎 葉 散 布(混用)
			アドマイヤー			2000倍	278L	4.5ml /9.0L/32.4㎡	6.0ml/12.0L		
8月8日			カスミンボルドー			1000倍	278L	9.00g /9.0L/32.4㎡	12.00g/12.0L	成熟期 (草丈約1.7m)	茎 葉 散 布(混用)
			アドマイヤー			2000倍	278L	4.5ml/9.0L/32.4㎡	6.0ml/12.0L		
8月15日			カスミンボルドー			1000倍	278L	9.00g /9.0L/32.4㎡	12.00g/12.0L	成熟期 (草丈約1.7m)	茎 葉 散 布(混用)
			アドマイヤー			2000倍	278L	4.5ml/9.0L/32.4㎡	6.0ml/12.0L		

(H28グループ化:メロン)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

区 分 処理月日	処理方法の詳細, 処理時の環境条件等	処理時刻, 処理時の天候を含む処理日の天気概況	
		特に降雨の有無と降雨時間, 処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H28年7月18日	散布機器: 背負式バッテリー (丸山 MSB1500Li) ノズル : 狭角コーンノズル (丸山) 散布方法: 1株毎に, 一定の時間で全体へ均一に散布した。	時刻 11:15 ~ 11:24	天候: 曇り (日中晴れ), 風の影響なし。
7月25日		時刻 16:13 ~ 16:23	天候: 晴れ (日中晴れ), 風の影響なし。
8月1日		時刻 16:20 ~ 16:30	天候: 晴れ (日中晴れ), 風の影響なし。
8月8日		時刻 16:40 ~ 16:50	天候: 晴れ (日中晴れ), 風の影響なし。
8月15日		時刻 16:30 ~ 16:40	天候: 晴れ (日中晴れ), 風の影響なし。

- (1) 展着剤 使用せず 使用した区番号 展着剤名 濃度または量
- (2) 備考 各回, 薬液を多めに作製して散布した。なお, 8月1日, 8日および15日は2剤を混用して薬液を作製した。

(H28グループ化:メロン)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
							10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した農薬量/薬液量		
H28年7月15日				ドキリン	無処理	500倍	250L	16.2ml /8.1L/32.4㎡	20.0ml /10.0L	果実肥大期 (草丈約1.7m)	茎 葉 散 布
7月22日				ドキリン		500倍	278L	18.0ml/9.0L/32.4㎡	22.0ml/11.0L	果実肥大期 (草丈約1.7m)	茎 葉 散 布
7月29日				ドキリン		500倍	278L	18.0ml/9.0L/32.4㎡	22.0ml/11.0L	果実肥大期 (草丈約1.7m)	茎 葉 散 布
8月 5日				ドキリン		500倍	278L	18.0ml/9.0L/32.4㎡	22.0ml/11.0L	果実肥大期 ネット形成期 (草丈約1.7m)	茎 葉 散 布
8月12日				ドキリン		500倍	278L	18.0ml/9.0L/32.4㎡	22.0ml/11.0L	成熟期 (草丈約1.7m)	茎 葉 散 布

区 分 処理月日	処理方法の詳細, 処理時の環境条件等	処理時の使用器具（機械）、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等		処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H28年7月15日	散布機器：背負式バッテリー（丸山 MSB1500Li） ノズル：狭角コーンノズル（丸山） 散布方法：1株毎に、一定の時間で全体へ均一に散布した。			時刻 16:35 ~ 16:45	天候：曇り（日中雨のち曇り）、風の影響なし。
7月22日				時刻 17:09 ~ 17:19	天候：曇り（日中曇り）、風の影響なし。
7月29日				時刻 8:23 ~ 8:33	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
8月5日				時刻 16:10 ~ 16:20	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。
8月12日				時刻 16:10 ~ 16:20	天候：晴れ（日中晴れ）、風の影響なし。

(1) 展着剤 使用せず 使用した区番号

展着剤名

濃度または量

(2) 備考 各回、薬液を多めに作製して散布した。

区 分 採取月日	A 区 試料番号	B 区 試料番号	C 区 試料番号	D 区 試料番号	E 区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順（区番号順）	試料送付量	試料送付月日
H28年8月18日			C－1		E (無処理)	E区 時刻：13:15 ～ 13:18 天候：曇り C区 時刻：13:40 ～ 13:42 天候：曇り	E→C	E：10個／17.1 kg C－1：5個／8.6 kg	8月18日
8月22日			C－2	D－1		D区 時刻：9:34 ～ 9:36 天候：雨 C区 時刻：9:55 ～ 9:56 天候：雨	D→C	D－1：5個／8.0 kg C－2：5個／9.5 kg	8月22日
8月23日	A－1	B－1				A区 時刻：9:25 ～ 9:27 天候：曇り B区 時刻：9:41 ～ 9:43 天候：曇り	A→B	A－1：5個／8.8 kg B－1：5個／8.5 kg	8月23日
8月25日	A－2	B－2		D－2		D区 時刻：8:46 ～ 8:47 天候：晴れ A区 時刻：8:59 ～ 9:00 天候：晴れ B区 時刻：9:13 ～ 9:14 天候：晴れ	D→A→B	D－2：5個／8.4 kg A－2：5個／9.3 kg B－2：5個／8.8 kg	8月25日
8月29日	A－3	B－3	C－3	D－3		D区 時刻：9:25 ～ 9:27 天候：雨 C区 時刻：9:40 ～ 9:42 天候：雨 A区 時刻：9:51 ～ 9:53 天候：雨 B区 時刻：10:10～ 10:12 天候：雨	D→C→A→B	D－3：5個／9.1 kg C－3：5個／9.8 kg A－3：5個／9.8 kg B－3：5個／9.4 kg	8月29日

区 分 採取月日	送付試料について（該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する）
H28年8月18日	1. 試料の大きさは（やや大きい○通常やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い○通常やや過熟）3. その他（ ）4. 原因
8月22日	1. 試料の大きさは（やや大きい○通常やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い○通常やや過熟）3. その他（ ）4. 原因
8月23日	1. 試料の大きさは（やや大きい○通常やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い○通常やや過熟）3. その他（ ）4. 原因
8月25日	1. 試料の大きさは（やや大きい○通常やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い○通常やや過熟）3. その他（ ）4. 原因
8月29日	1. 試料の大きさは（やや大きい○通常やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い○通常やや過熟）3. その他（ ）4. 原因

(1) 試料採取方法

使用した器具（機械）、採取方法の詳細。
採取後乾燥等のための輸送方法を記載。

各区、試験区境界部（南北）の株を除き、全体から大きさの揃った試料を鉢を用いて採取した。
なお、定植初期につる枯病が発生し、罹病株による周囲への蔓延を防ぐ目的として平成28年7月6日にトップジンMペーストを塗布したが、処理区Aの供試薬剤ベンレート水和剤に対する分析妨害農薬であることから、採取時の処理区Aおよび無処理区Eにおいては、処理(塗布)株を除く株から採取を行った。

(2) 採取後の調製・梱包方法

試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥。
脱穀・すり等の方法、前後の試料調製方法および試料の梱包方法を記載。

採取した試料は、その都度清浄なプラスチック製のかごに入れた（試験区ラベル同梱）。梱包は試料調整室で1個ずつ包装紙で包み、ビニール袋に入れて段ボール箱に入れ、周りをエアクッションで詰めた。

(3) 試料送付先

分析機関：株式会社化学分析コンサルタント

(4) 試料の輸送方法

到着日指定、温度指定、ヤマト運輸、冷蔵便で翌日午前中着で発送した。
輸送会社名

(5) 備考

採取時は、清浄な手袋を装着して作業を行った。なお、手袋と鉢は試験区毎に交換した。

試験期間中の気象

観測地点および試料調製場所: 茨城県牛久市結束町535番地 一般社団法人日本植物防疫協会茨城研究所(ガラスハウス)

観測条件: 気温:平均気温(1 時間毎)

(28年)

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
7	施設内気温(℃)															23.6	24.4	26.7	28.7	28.9	26.6	23.6	22.5	22.7	24.2	25.7	24.2	25.3	28.2	28.8	28.3	27.6
8	施設内気温(℃)	28.2	27.8	28.7	29.8	30.8	30.3	28.9	28.6	31.2	29.3	27.1	27.6	26.9	26.5	27.3	27.6	30.2	27.5	28.3	28.2	29.2	26.6	28.5	27.7	29.7	29.8	24.5	23.7	27.2		

別紙1. 過去 1 年間に作付けした作物および使用した農薬

薬剤処理区 A～D(ガラスハウス 4)

メロン	:	平成27年 7月 16日	トップジンMペースト 原液塗布
作物なし:		平成28年 6月 1日	クロピク80 30L/10a 全面点注
メロン(現作物):		平成28年 6月 10日 (育苗期)	ガッテン乳剤 5000倍・ベストガード水溶剤 1000倍・ライメイフロアブル 2000倍
		6月 16日	モレスタン水和剤 2000倍・ダコニール1000 1000倍
		6月 24日	ベストガード粒剤 1g/株 株元散布
		7月 1日	スミレックス水和剤 2000倍・ベトファイター顆粒水和剤 2000倍・モスピラン顆粒水溶剤 8000倍・ディアナSC 2500倍
		7月 6日	フルピカフロアブル 2000倍・ライメイフロアブル 2000倍・スミレックス水和剤 2000倍
		7月 6日	トップジンMペースト 原液塗布 (つる枯れ病発生株のみ) *

無処理区Eガラスハウス3)

作物なし:		平成27年 8月 5日	ドジョウピクリン 30L/10a 全面点注
葉ねぎ:		平成27年 10月 13日 12月 15日 平成28年 1月 6日	リゾレックス水和剤 500倍 1L/m ² 灌注 アミスター20フロアブル 2000倍・ハチハチ乳剤 1000倍 ハチハチ乳剤 1000倍
ほうれんそう:		平成27年10月 13日	リゾレックス水和剤 500倍 1L/m ² 灌注
しゅんぎく:		平成27年10月 13日	リゾレックス水和剤 500倍 1L/m ² 灌注
みずな:		平成27年10月 13日	リゾレックス水和剤 500倍 1L/m ² 灌注
さやいんげん:		平成27年10月 13日 11月 15日	リゾレックス水和剤 500倍 1L/m ² 灌注 スミレックス水和剤 1000倍・コルト顆粒水和剤 3000倍・サンマイトフロアブル 1000倍
みつば:		平成27年10月 13日	リゾレックス水和剤 500倍 1L/m ² 灌注
こまつな:		平成28年 2月 15日 2月 19日	トップジンM水和剤 2000倍 トクチオン乳剤 1000倍
作物なし:		平成28年 6月 1日	クロピク80 30L/10a 全面点注
メロン(現作物):		平成28年6月 10日 (育苗期)	ガッテン乳剤 5000倍・ベストガード水溶剤 1000倍・ライメイフロアブル 2000倍
		6月 16日	モレスタン水和剤 2000倍・ダコニール1000 1000倍
		6月 24日	ベストガード粒剤 1g/株 株元散布
		7月 1日	スミレックス水和剤 2000倍・ベトファイター顆粒水和剤 2000倍・モスピラン顆粒水溶剤 8000倍・ディアナSC 2500倍
		7月 6日	フルピカフロアブル 2000倍・ライメイフロアブル 2000倍・スミレックス水和剤 2000倍
		7月 6日	トップジンMペースト 原液塗布 (つる枯れ病発生株のみ) *

* : メロンつる枯病の施設内での蔓延を防ぐため初期発生株の病患部(株元)に同薬剤を塗布し、かつこれらの株から果実を採取しないよう、株にヒモでマーキングした。

写真1. 試験区ハウス全景



写真4. 処理区の草勢(6月15日)



写真7. A区1回目散布時の株の状況



写真2. 処理区ハウス全景



写真5. 無処理区の草勢(6月15日)



写真8. A区1回目散布時の果実



写真3. 無処理区ハウス全景



写真6. 処理区と無処理区間の遮蔽幕



写真9. A区2回目散布時の株の状況



写真10. A区2回目散布時の果実



写真11. A区3回目散布時の株の状況



写真12. A区3回目散布時の果実



写真13. A区4回目散布時の株の状況



写真14. A区4回目散布時の果実



写真15. A区5回目散布時の株の状況



写真16. A区5回目散布時の果実



写真17. B区1回目散布時の株の状況



写真18. B区1回目散布時の果実



写真 19. B区2回目散布時の株の状況



写真20. B区2回目散布時の果実



写真21. B区3回目散布時の株の状況



写真22. B区3回目散布時の果実



写真23. B区4回目散布時の株の状況



写真24. B区4回目散布時の果実



写真25. B区5回目散布時の株の状況



写真26. B区5回目散布時の果実



写真27. C区1回目散布時の株の状況



写真28. C区1回目散布時の果実



写真29. C区2回目散布時の株の状況



写真30. C区2回目散布時の果実



写真31. C区3回目散布時の株の状況



写真32. C区3回目散布時の果実



写真33. C区4回目散布時の株の状況



写真34. C区4回目散布時の果実



写真35. C区5回目散布時の株の状況



写真36. C区5回目散布時の株の果実



写真37. D区1回目散布時の株の状況



写真38. D区1回目散布時の果実



写真39. D区2回目散布時の株の状況



写真40. D区2回目散布時の果実



写真41. D区3回目散布時の株の状況



写真42. D区3回目散布時の果実



写真43. D区4回目散布時の株の状況



写真44. D区4回目散布時の果実



写真45. D区5回目散布時の株の状況



写真46. D区5回目散布時の果実



写真47. A-1の大きさ



写真48. A-2の大きさ



写真49. A-3の大きさ



写真50. B-1の大きさ



写真51. B-2の大きさ



写真52. B-3の大きさ



写真53. C-1の大きさ



写真54. C-2の大きさ



写真55. C-3 の大きさ



写真56. D-1 の大きさ



写真57. D-2 の大きさ



写真58. D-3 の大きさ

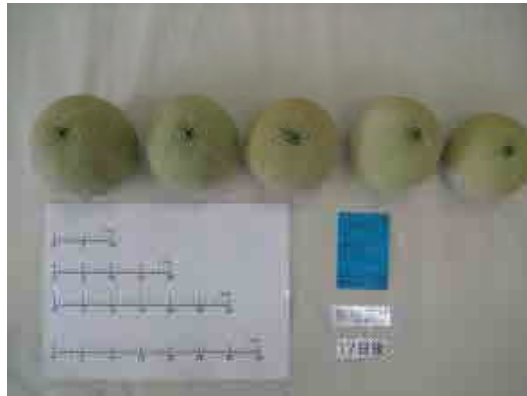


写真59. E (無処理区) の大きさ



平成28年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 28年 8月 ～ 28年10月)

1. 被験物質 (処理区A)

- (1) 一般名・剤型 ①トリフルミダール(トリアミン水和剤)、②ノニルフェノールスルホン酸銅(ヨネボン水和剤)、
③ヘノミル(ヘンレト水和剤)、④DBEDC(サンヨール)、⑤ホセチル(アリエッティ水和剤)
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ①トリフルミダール: 30.0%、②ノニルフェノールスルホン酸銅: 40.0%、
③ヘノミル: 50.0%、④DBEDC: 20.0%、⑤ホセチル: 80.0%
- (3) 被験物質のLot No. ①18.10 4Z24S、②452、③19.10 GAA275、
④20.10 11333、⑤18.10 PD16B00002

被験物質 (処理区B)

- (1) 一般名・剤型 ⑥マラソン(マラソン乳剤)、⑦ミルベメクチン(コマイト乳剤)、⑧ボリオリキシ複合体
(ボリオリキシAL水溶液)、⑨シルフェナジド(バンチャTF顆粒水和剤)、⑩アベメクチン(アグリメック)
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ⑥マラソン: 50.0%、⑦ミルベメクチン: 1.0%、⑧ボリオリキシ複合体: 50.0%、
⑨シルフェナジド: 3.4%、⑩アベメクチン: 1.8%
- (3) 被験物質のLot No. ⑥18.10-NG510Z、⑦18.10 48U80023、⑧421、
⑨18.10 SEK-03T、⑩17.10.14Y13

被験物質 (処理区C)

- (1) 一般名・剤型 ⑪カスカマイシン(カスミンホルトー)、⑫イミダクロプリト(アドマイアプロアブル)
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ⑪カスカマイシン: 5.7%、⑫イミダクロプリト: 20.0%
- (3) 被験物質のLot No. ⑪18.10-HI401Y、⑫19.10 T6C01

被験物質 (処理区D)

- (1) 一般名・剤型 ⑬有機銅(トキシンプロアブル)
- (2) 有効成分名及び成分含有率 ⑬有機銅: 35.0%
- (3) 被験物質のLot No. ⑬17.10 A5D10

2. 農作物名 メロン

品種名 ソナタ208

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

試験圃場所在地 高知県香南市野市町深瀬本田1211

4. 試験責任者氏名 松村栄一、奴田原 誠克、高芝 和明、高田 正、小川 和己、内藤 寛
谷山 頼清、有波 友紀、島崎 祐樹

5. 土性 砂土・砂壤土・壤土 (埴埴土)・埴土・軽埴土 (○を付す) 減水深 — cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(/10a)、水管理等、
被覆資材(茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・114栽培の被覆時期を記載する

露地・施設の別 施設栽培 有袋・無袋の別 —

播種: 平成28年6月30日, 定植: 7月15日, 畝幅: 140cm, 株間: 40cm, 1条植立体栽培,

約3300株/10a, 施肥(処理区A,B,C,D.): 平成28年7月11日 こうち園芸ベレット(6-8-4) 333kg/10

無処理区Eは無施肥, マルチ栽培 受粉: 8月3日~8月8日 その他管理は慣行に従った。

収穫期間(適期): 平成28年9月下旬 ~

8. 生育ステージ

試験計画書に指定された生育ステージ —
を記入して下さい。

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

使用農薬なし。

10. 試験区

- (1) 1試験区の面積および本(株)数 処理区A、B、C、D 各区:
38.1m² (1.4m×2畦×13.6m)、68株
無処理区E: 38.1m² (1.4m×1畦×27.2m)、68株

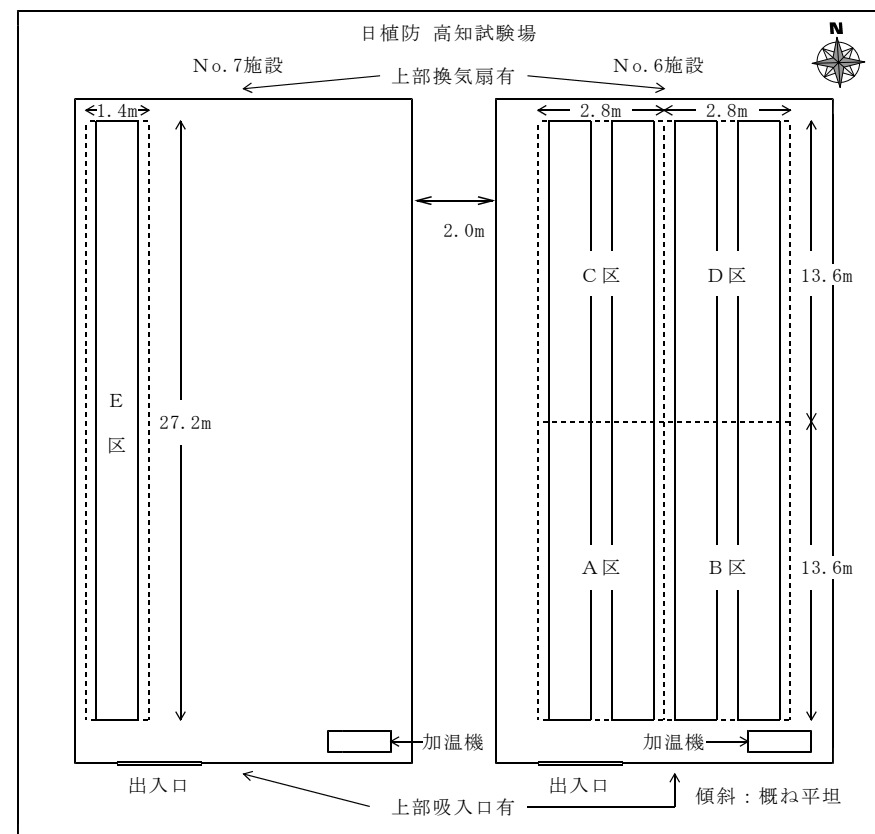
- (2) 施設の場合、面積・容積・高さ 面積: 225m², 容積: 680m³, 高さ: 3.4m

- (3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



11. 処理方法 (下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
H28年 8月29日	①				無処理	①3000倍	281L	①3.6g/10.7L/38.1㎡	ネット形成期	茎葉散布
9月 5日	①、② ④					①3000倍、 ②500倍、 ④500倍	281L	①3.6g、②21.4g、④21.4mL /10.7L/38.1㎡	成熟期	茎葉散布
9月12日	①、②、③ ④、⑤					①3000倍、 ②500倍、 ③2000倍、 ④500倍、 ⑤800倍	281L	①3.6g、②21.4g、③5.4g、 ④21.4mL、 ⑤13.4g/10.7L/38.1㎡	成熟期	茎葉散布
9月20日	①、②、③ ④、⑤					①3000倍、 ②500倍、 ③2000倍、 ④500倍、 ⑤800倍	281L	①3.6g、②21.4g、③5.4g、 ④21.4mL、 ⑤13.4g/10.7L/38.1㎡	成熟期	茎葉散布
9月26日	①、②、③ ④、⑤					①3000倍、 ②500倍、 ③2000倍、 ④500倍、 ⑤800倍	281L	①3.6g、②21.4g、③5.4g、 ④21.4mL、 ⑤13.4g/10.7L/38.1㎡	成熟期	茎葉散布
月 日										
月 日						①トリフルミゾール(トリフィン水和剤) ②ノニルフェノールスルホン酸銅(ヨネボソ水和剤) ③ヘノミル(ヘンソレート水和剤) ④DBEDC(サンヨール) ⑤ホセチル(アリエッティ水和剤)				
月 日										
月 日										
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況			
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する			
H28年 8月29日	背負式バッテリー動力噴霧機 (丸山製作所・MSB1100Li) に キョウカクコーンノズル1頭口 (丸山製作所) を装着して均一に散布した。	処理開始時刻; 15:15	処理時の天候: 晴れ	当日の天候: 雨のち晴れ	風の影響はなし
9月 5日		処理開始時刻; 16:30	処理時の天候: 雨	当日の天候: 雨のち曇	風の影響はなし
9月12日		処理開始時刻; 14:10	処理時の天候: 曇	当日の天候: 曇のち雨	風の影響はなし
9月20日		処理開始時刻; 15:30	処理時の天候: 曇	当日の天候: 雨のち曇	風の影響はなし
9月26日		処理開始時刻; 14:45	処理時の天候: 晴れ	当日の天候: 雨のち曇	風の影響はなし
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

(2) 備考 ー

1.1 処理方法 (下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
H28年 8月29日		⑧			無処理	⑧1000倍	281L	⑧10.7g/10.7L/38.1㎡	ネット形成期	茎葉散布
9月 5日		⑧				⑧1000倍	281L	⑧10.7g/10.7L/38.1㎡	成熟期	茎葉散布
9月12日		⑥、⑧、⑩				⑥1000倍、⑧1000倍、⑩500倍	281L	⑥10.7mL、⑧10.7g、⑩21.4mL/10.7L/38.1㎡	成熟期	茎葉散布
9月20日		⑥、⑦、⑧、⑨、⑩				⑥1000倍、⑦1000倍、⑧1000倍、⑨1360倍、⑩500倍	281L	⑥10.7mL、⑦10.7mL、⑧10.7g、⑨7.9g、⑩21.4mL/10.7L/38.1㎡	成熟期	茎葉散布
9月26日		⑥、⑦、⑧、⑨、⑩				⑥1000倍、⑦1000倍、⑧1000倍、⑨1360倍、⑩500倍	281L	⑥10.7mL、⑦10.7mL、⑧10.7g、⑨7.9g、⑩21.4mL/10.7L/38.1㎡	成熟期	茎葉散布
月 日										
月 日						⑥マラソン(マラソン乳剤) ⑦ミルベメクチン(コロマト乳剤) ⑧ボリオキシ複合体(ボリオキシAL水溶剤) ⑨シフルフェナト(ハントフォTF顆粒水和剤) ⑩アバメクチン(アグリメック)				
月 日										
月 日										
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況			
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する			
H28年 8月29日	背負式バッテリー動力噴霧機 (丸山製作所・MSB1100Li) に キョウカクコーンノズル1頭口 (丸山製作所) を装着して均一に散布した。	処理開始時刻; 15:20	処理時の天候: 晴れ	当日の天候: 雨のち晴れ	風の影響はなし
9月 5日		処理開始時刻; 16:30	処理時の天候: 雨	当日の天候: 雨のち曇	風の影響はなし
9月12日		処理開始時刻; 14:20	処理時の天候: 曇	当日の天候: 曇のち雨	風の影響はなし
9月20日		処理開始時刻; 15:30	処理時の天候: 曇	当日の天候: 雨のち曇	風の影響はなし
9月26日		処理開始時刻; 14:45	処理時の天候: 晴れ	当日の天候: 雨のち曇	風の影響はなし
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

(2) 備考 ー

1.1 処理方法 (下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
H28年 8月29日			⑪		無処理	⑪1000倍	281L	⑪10.7g/10.7L/38.1㎡	ネット形成期	茎葉散布
9月 5日			⑪			⑪1000倍	281L	⑪10.7g/10.7L/38.1㎡	成熟期	茎葉散布
9月12日			⑪、⑫			⑪1000倍、⑫2000倍	281L	⑪10.7g、⑫5.4ml/10.7L/38.1㎡	成熟期	茎葉散布
9月20日			⑪、⑫			⑪1000倍、⑫2000倍	281L	⑪10.7g、⑫5.4ml/10.7L/38.1㎡	成熟期	茎葉散布
9月26日			⑪、⑫			⑪1000倍、⑫2000倍	281L	⑪10.7g、⑫5.4ml/10.7L/38.1㎡	成熟期	茎葉散布
月 日										
月 日						⑪カスカ [®] マイシン(カスミンホ [®] ルト [®] -) ⑫イミダ [®] クロフ [®] リト [®] (アド [®] マイヤーフロアブ [®] ル)				
月 日										
月 日										
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況			
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する			
H28年 8月29日	背負式バッテリー動力噴霧機(丸山製作所・MSB1100Li)に キョウカクコーンノズル1頭口(丸山製作所)を装着して均一に散布した。	処理開始時刻;15:20	処理時の天候:晴れ	当日の天候:雨のち晴れ	風の影響はなし
9月 5日		処理開始時刻;16:25	処理時の天候:雨	当日の天候:雨のち曇	風の影響はなし
9月12日		処理開始時刻;14:20	処理時の天候:曇	当日の天候:曇のち雨	風の影響はなし
9月20日		処理開始時刻;15:30	処理時の天候:曇	当日の天候:雨のち曇	風の影響はなし
9月26日		処理開始時刻;14:45	処理時の天候:晴れ	当日の天候:雨のち曇	風の影響はなし
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

(2) 備考 ー

1.1. 処理方法 (下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	処理濃度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							10a当	試験区当 (農薬量/散布量/面積)		
H28年 8月26日				⑬	無処理	⑬500倍	281L	⑬21.4g/10.7L/38.1㎡	ネット形成期	茎葉散布
9月 2日				⑬		⑬500倍	281L	⑬21.4g/10.7L/38.1㎡	成熟期	茎葉散布
9月 9日				⑬		⑬500倍	281L	⑬21.4g/10.7L/38.1㎡	成熟期	茎葉散布
9月16日				⑬		⑬500倍	281L	⑬21.4g/10.7L/38.1㎡	成熟期	茎葉散布
9月23日				⑬		⑬500倍	281L	⑬21.4g/10.7L/38.1㎡	成熟期	茎葉散布
月 日										
月 日						⑬有機銅 (ト°キリンフロア°ル)				
月 日										
月 日										
月 日										
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況			
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する			
H28年 8月26日	背負式バッテリー動力噴霧機 (丸山製作所・MSB1100Li) に キョウカクコーンノズル1頭口 (丸山製作所) を装着して均一に散布した。	処理開始時刻; 17:15	処理時の天候: 晴れ	当日の天候: 晴れのち曇	風の影響はなし
9月 2日		処理開始時刻; 16:40	処理時の天候: 晴れ	当日の天候: 曇のち晴れ	風の影響はなし
9月 9日		処理開始時刻; 17:30	処理時の天候: 晴れ	当日の天候: 曇のち晴れ	風の影響はなし
9月16日		処理開始時刻; 16:10	処理時の天候: 曇	当日の天候: 曇	風の影響はなし
9月23日		処理開始時刻; 17:05	処理時の天候: 曇	当日の天候: 曇のち雨	風の影響はなし
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					
月 日					

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

(2) 備考 ー

12. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式)に記入したものを記載する)

区 分 採取月日	A 区 試料番号	B 区 試料番号	C 区 試料番号	D 区 試料番号	E 区 試料番号	F 区 試料番号	G 区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
H28年9月27日	A-1	B-1			E (無処理)			採取; 10:20 ~ 11:20 天候: 晴れ	E → B → A	A区: 6個, 10.1kg B区: 6個, 10.4kg × 1分析 E区: 6個, 9.8kg E区: 6個, 10.8kg	9月27日
9月29日	A-2	B-2	C-1					採取; 9:20 ~ 10:00 天候: 晴れ	C → B → A	A区: 6個, 10.3kg B区: 6個, 10.8kg × 1分析 C区: 6個, 11.1kg	9月29日
10月3日	A-3	B-3	C-2	D-1				採取; 8:50 ~ 9:50 天候: 晴れ	D → C → B → A	A区: 6個, 10.5kg B区: 6個, 10.6kg × 1分析 C区: 6個, 10.4kg D区: 6個, 10.4kg	10月3日
10月6日				D-2				採取; 7:50 ~ 8:00 天候: 晴れ	D	D区: 6個, 10.4kg × 1分析	10月6日
10月10日			C-3	D-3				採取; 9:05 ~ 9:20 天候: 晴れ	C → D	C区: 6個, 10.3kg × 1分析 D区: 6個, 10.4kg	10月10日

区 分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
H28年9月27日	1. 試料の大きさは(やや大きい)通常()やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は(やや早い)通常()やや過熟 3. その他 () 4. 原因
9月29日	1. 試料の大きさは(やや大きい)通常()やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は(やや早い)通常()やや過熟 3. その他 () 4. 原因
10月3日	1. 試料の大きさは(やや大きい)通常()やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は(やや早い)通常()やや過熟 3. その他 () 4. 原因
10月6日	1. 試料の大きさは(やや大きい)通常()やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は(やや早い)通常()やや過熟 3. その他 () 4. 原因
10月10日	1. 試料の大きさは(やや大きい)通常()やや小さい 大きさにバラツキがある 2. 熟期は(やや早い)通常()やや過熟 3. その他 () 4. 原因

(1) 試料採取方法

使用した器具(機械)、採取方法の詳細、
採取後乾燥等のための輸送方法を記載

各処理区および無処理区試料は、試験区の境界部を除く試験区全体から鉢を用いて採取した。

採取した試料は、直ちに未使用のボークスペーパーを敷いた採取用カゴに入れた。そして場内の試料調製室まで運んだ。

(2) 採取後の調製・梱包方法

試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、
脱殻・粗すり等の方法、雨後の試料調製方法および試料の梱包方法を記載

採取した果実は個別にボークスペーパーで包んだ後、ダンボール箱に入れ梱包した。破損防止のためダンボール箱内の底にエアークッションを入れ、緩衝材としてボークスペーパーを使用した。

ダンボール箱の内側には試験区ラベルを、外側には梱包シールを貼り梱包した。試験区ごと別々に梱包した。

(3) 試料送付先

分析機関: 株式会社 化学分析コンサルタント

(4) 試料の輸送方法

到着日指定、温度指定、
輸送会社等

到着日を送付翌日に指定し、ヤマト運輸株式会社の冷蔵便で送付した。

(5) 備考

- 6 -

処理区A、B、C、Dに使用した圃場 (No. 6)
なす
平成27年. 10/17 スタークル顆粒水溶剤 2000倍、プレバツンフロアブル5 2000倍 散布
11/3、10、24、12/1 MIF-1002フロアブル 2000倍、OAT-0641乳剤 1000倍、BCB-151水和剤 500倍、インプレッション
水和剤 1000倍、モレスタン水和剤 3000倍 散布
11/4 ヘストガード水溶剤 2000倍、アデイオン乳剤 2000倍、トルネードフロアブル 2000倍 散布
11/12 コロマト乳剤 2000倍 散布
12/2 アグリメック 1000倍、モベントフロアブル 2000倍 散布
12/18 モレスタン水和剤 3000倍、コロマト乳剤 1500倍、ヘストガード水溶剤 2000倍 散布
平成28年. 1/8 アファーム乳剤 2000倍、モベントフロアブル 2000倍 散布
1/15、18、22、25、29、2/1、5、8、12、15 トマトトン 50倍処理
1/20、27、2/5 AKD-5195SC 2000倍、MIF-1401フロアブル 1000倍、NF-180フロアブル10 1000倍、ケンシヤフロアブル
1500倍、ブライア水和剤 1000倍、スレックス水和剤 1500倍 散布
1/28 ハチハチ乳剤 1000倍 散布
3/18 スレックス水和剤 1000倍 散布
3/29 スレックス水和剤 1000倍、モレスタン水和剤 2000倍 散布
4/6 スレックス水和剤 2000倍 散布
3/10、17、25、4/4 バレードフロアブル20 4000倍、ファンタジスタ顆粒水和剤 2000倍、インプレッションクリア 2000倍、
タコニール1000 1000倍、アグロケア水和剤 2000倍 散布
5/27 アファーム乳剤 2000倍 散布
6/2、10、20 イビテラザム(ネクスター)フロアブル 1000倍、ファンタジスタ顆粒水和剤 3000倍、ブライア水和剤 1000倍、
タコニール1000 1000倍 散布
6/7 モベントフロアブル 2000倍 散布
6/9 ハチハチ乳剤 1000倍 散布
メロン
6/29 ソイリン 30L/10a
7/29 モベントフロアブル 2000倍、プレバツンフロアブル5 2000倍 散布
8/25 カリグリーン水溶剤 1000倍、プレバツンフロアブル5 2000倍 散布

無処理区Eに使用した圃場（No. 7）
メロン
平成27年. 8/10、17、24、31、9/7、14、21、28、10/5、12 モレスタン水和剤 2000倍 散布
8/31、9/7、14、21、28、10/5 オートサイト水和剤80 400倍 散布
8/13 モベントフロアブル 2000倍、ブレバソソフロアブル5 2000倍 散布
9/4 フェニックス顆粒水和剤 2000倍、ブレバソソフロアブル5 2000倍、ヘルコート水和剤 1000倍 散布
9/7、14、21、28、10/5 ダイアシノン乳剤 700倍 散布
9/14、21、28、10/5、12 スカウトフロアブル 2000倍、アグロシリン乳剤 1000倍、ダコニール1000 700倍 散布
9/28、10/5、12 フェステイパルC水和剤 1000倍、ダニトロンフロアブル 1000倍、アフェクトフロアブル 2000倍、アクトラ顆粒水溶剤 2000倍、トップジンM水和剤 1500倍、テントオン水和剤 500倍 散布
10/5、12 アファーム乳剤 1000倍、サンマイトフロアブル 1000倍 散布
10/12 マイトコーネフロアブル 1000倍 散布
しゅんぎく
平成28年. 1/7 モスビラン顆粒水溶剤 8000倍、アファーム乳剤 2000倍 散布
1/11、18 シクラニバロール（テッパシ）液剤 2000倍 散布
レタス
平成28年. 2/4 スレックス水和剤 1000倍、モスビラン顆粒水溶剤 3000倍、ダコニール1000 1000倍 散布
2/22、29 スピネトラム（ディナ）SC 2500倍 散布
きゅうり
平成28年. 5/19 モレスタン水和剤 2000倍、ベストガード水溶剤 2000倍、サンヨール 500倍 散布
4/25、5/2 JOY-1602E水和剤 100倍、JOY-1602E水和剤 200倍、RM-1537EC 250倍、RM-1537EC 500倍
OAT-0633 原液、IL-1502SC 500倍、粘着くん液剤 100倍、アドマイヤ顆粒水和剤 5000倍
6/13 ディアナSC 2500倍、ディアナSC 5000倍、ブレオフロアブル 1000倍、フェニックス顆粒水和剤 2000倍 散布
6/17、24 AKD-1193SC 2500倍、RM-1537EC 250倍、アファーム乳剤 2000倍 散布
メロン
7/1 ソイーン 30L/10a
7/29 モベントフロアブル 2000倍、ブレバソソフロアブル5 2000倍 散布
8/25 カリグリーン水溶剤 1000倍、ブレバソソフロアブル5 2000倍 散布

気 象 表

観測地点および試料調製場所：高知県香南市野市町深淵 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

気温：平均気温 (1 時間毎) 降水量：日界 0 時

記号；○：薬剤処理日
△：試料採取日

(28年)

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
8	気温（施設内温度）																										33.1	31.4	30.5	28.7	26.4	27.5
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																										○			○		
	区記号（試料番号）																										D			A, B, C		
9	気温（施設内温度）	27.4	27.7	28.3	28.6	26.4	29.4	30.4	28.6	27.7	27.5	28.3	27.5	28.3	26.6	27.8	28.6	28.0	26.7	26.7	23.6	26.3	25.5	27.1	26.9	28.3	29.1	28.5	28.4	28.7	26.0	
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取		○			○				○			○				○				○			○			○	△		△		
	区記号（試料番号）		D			A, B, C				D			A, B, C				D				A, B, C			D			A, B, C, D	A-1, B-1, E	A-2, B-2, C-1			
10	気温（施設内温度）	28.3	30.6	25.7	27.3	26.2	28.2	26.3	27.6	24.4	23.5																					
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取			△			△				△																					
	区記号（試料番号）			A-3, B-3, C-2, D-1		D-2					C-3, D-3																					
	気温（施設内温度）																															
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																															
	区記号（試料番号）																															
	気温（施設内温度）																															
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																															
	区記号（試料番号）																															
	気温（施設内温度）																															
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																															
	区記号（試料番号）																															

薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。
また薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号 (送付カードと同様の番号) を当該欄へ記入する。
施設内気温測定には、テラカール (株式会社 ティアンドティ おんどとり TR-71Ui) を使用した。



試験施設



ほ場の様子



8月26日（初回散布）



8月29日



9月2日



9月5日



9月9日



9月12日